

令和 6 年度 自己評価報告書

(専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版)

令和 7 年 3 月 31 日

学校法人福岡医療学院

福岡医療専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1	基準5 学生支援	23
基準1 教育理念・目的・育成人材像.....	2	5-16 就職等進路	24
1-1 理念・目的・育成人材像.....	36	5-17 中途退学への対応	26
基準2 学校運営.....	56	5-18 学生相談	298
2-2 運営方針	6	5-19 学生生活	30
2-3 事業計画	7	5-20 保護者との連携	32
2-4 運営組織	8	5-21 卒業生・社会人	35
2-5 人事・給与制度.....	9	基準6 教育環境	35
2-6 意思決定システム.....	10	6-22 施設・設備等	36
2-7 情報システム	11	6-23 学外実習、インターンシップ等	37
基準3 教育活動.....	12	6-24 防災・安全管理	39
3-8 目標の設定	13	基準7 学生の募集と受入れ	39
3-9 教育方法・評価等.....	14	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	40
3-10 成績評価・単位認定等.....	15	7-26 入学選考	43
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	16	7-27 学納金	45
3-12 教員・教員組織.....	17	基準8 財務	47
基準4 学修成果.....	18	8-28 財務基盤	48
4-13 就職率	19	8-29 予算・収支計画	49
4-14 資格・免許の取得率.....	21	8-30 監査	50
4-15 卒業生の社会的評価.....	232	8-31 財務情報の公開	51

基準 9	法令等の遵守.....	52
9-32	関係法令、設置基準等の遵守.....	53
9-33	個人情報保護	54
9-34	学校評価	55
9-35	教育情報の公開.....	56
基準 10	社会貢献・地域貢献.....	57
10-36	社会貢献・地域貢献.....	58
10-37	ボランティア活動.....	59

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和6年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策																								
○ 教育理念 親が子に残せる唯一の財産は教育である。 ○ 目 標 教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、知識・技術・人間性を兼ね備えた人材を育成することを目標とする。	○ 教育活動 知識・技術・人間性を備え、職種連携ができる、質の高い医療人を養成する。 ○ 実践的な職業教育 医療機関と連携を密にした実践的な職業教育を行い、国家試験全員合格を目指す。 ○ 「退学者0（ゼロ）」 「退学者0（ゼロ）」に向けた取り組みを継続する。特に1年生の基礎学力を向上させ、学力不振を理由とした退学者を減らす等の方策を図る。	○ 教育活動・学修成果 <table><tr><td>柔道整復師</td><td>97.2%</td></tr><tr><td>(36名受験、35名合格)</td><td></td></tr><tr><td>はり師</td><td>97.7%</td></tr><tr><td>(44名受験、43名合格)</td><td></td></tr><tr><td>きゅう師</td><td>97.7%</td></tr><tr><td>(44名受験、43名合格)</td><td></td></tr><tr><td>理学療法士</td><td>100%</td></tr><tr><td>(56名受験、56名合格)</td><td></td></tr><tr><td>看護師</td><td>95.9%</td></tr><tr><td>(49名受験、47名合格)</td><td></td></tr><tr><td>診療放射線技師</td><td>97.1%</td></tr><tr><td>(34名受験、33名合格)</td><td></td></tr></table> ○ 実践的な職業教育 「教育課程編成委員会」を通じ、各専門家の意見を取り入れ、教育課程の改善に努めている。特に多職種連携においては、各学科の枠を超えた交流や海外研修における学習環境を提供した。 ○ 「退学者0（ゼロ）」 入学前の学習サポートや入学後の演習補習による基礎学習の定着を図り、学力不振を理由とした退学者を減らすことに努めた。	柔道整復師	97.2%	(36名受験、35名合格)		はり師	97.7%	(44名受験、43名合格)		きゅう師	97.7%	(44名受験、43名合格)		理学療法士	100%	(56名受験、56名合格)		看護師	95.9%	(49名受験、47名合格)		診療放射線技師	97.1%	(34名受験、33名合格)		○ 教育活動・学修成果 令和7年度から柔道整復科Ⅱ部（午後）を設置し、複数学科を同時受講できる体制を整備した。今後は幅広いスキルを持ち合わせた質の高い医療従事者の育成を目指すため、各教員の研修参加を促し、指導力の向上を図る。 ○ 実践的な職業教育 6学科体制を活かした多職種連携教育を推進していくことが次年度の課題である。また、各業界のトレンド（美容等）を加味した教育課程の改善が求められている。 ○ 「退学者0（ゼロ）」 FDSD研修を通じ、教職員の指導力向上に努めているが、まだ改善の余地がある。退学理由は多様であるが、特に精神的なサポート体制の整備が必要である。
柔道整復師	97.2%																										
(36名受験、35名合格)																											
はり師	97.7%																										
(44名受験、43名合格)																											
きゅう師	97.7%																										
(44名受験、43名合格)																											
理学療法士	100%																										
(56名受験、56名合格)																											
看護師	95.9%																										
(49名受験、47名合格)																											
診療放射線技師	97.1%																										
(34名受験、33名合格)																											

最終更新日付	令和7年3月18日	記載責任者	小磯 嘉貴
--------	-----------	-------	-------

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の教育理念、目的、育成人材像について明確に定めるとともに、その周知に努力している。関係機関等の協力のもと、業界のニーズに沿った育成人材像を構想し、教職員一丸となってその育成に取り組んでいる。 今年度の目標である「退学者 0(ゼロ)」の取り組みに関して、教員間の意識の転換を図るため FD・SD 研修会を通じて情報を共有している。	令和 7 年 4 月 1 日より柔道整復科Ⅱ部（午後）の設置認可がされた。同時受講が可能な体制を整備した。 各業界におけるニーズを反映し、「美容・スポーツ」を取り入れた教育課程を検討していく。そのモデルケースとして、「NISHIJIN CURE Labo マッサージ&鍼灸院・整骨院」を令和 7 年 1 月 5 日に開設した。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 18 日	記載責任者	小磯 嘉貴
--------	-----------------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	本校の教育理念・目的・育成人材像は教職員、学校関係者が共有すべき重要なものと考え、明確に定めている。	教育理念・目的・育成人材像は、学則、本校ホームページ及び学校案内パンフレット等に明確に公表している。	理念等は周知徹底されている。	学校案内パンフレット 学生募集要項 本校ホームページ 学則 シラバス 3つのポリシー
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	教育課程編成委員会、次年度教育内容会議及び学校関係者評価委員会等を通じて得た業界等のニーズをカリキュラムの作成に反映させ、育成人材像を見直す。	各学科において教育課程編成委員会、次年度教育内容会議及び学校関係者評価委員会等と協議して作成したカリキュラムに基づき指導および教育活動を進めている。	就職支援室を中心として、関連業界から求められる育成人材に関する情報収集を更に進めていく。	教育課程編成委員会議事録 次年度教育内容会議議事録 学校関係者評価委員会議事録
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	福岡医療専門学校における3つのポリシー「DP」「CP」「AP」を学科ごとに定め、特色のある職業実践教育に取り組む。 昨年から「退学者0(ゼロ)」を目標に追加し、今年は美容に関する講座を追加する予定。	3つのポリシーを踏まえた実践的な教育を実施するため、臨床経験豊富な教員を授業に配置している。 「退学者0(ゼロ)」に向けて1・2年生への対応を各学科で行っている。各業界のトレンド(美容等)を加味した教育課程の具体的な内容を検討する。	「DC」「CP」「AP」の目標に沿った指導教育が出来るように教職員の更なるスキルアップが求められる。 今までの学生指導および「退学者0(ゼロ)」の取り組みについて、教員の意識の転換が必要である。 美容に関する講座を追加するため、教員のスキルアップが課題である。	学校案内パンフレット 学生募集要項 本校ホームページ 学生要覧 3つのポリシー シラバス

1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会等より得た情報を常に把握し、時代に即した職業教育の充実向上に取り組む。 入学者の意識の変遷により昨年から「退学者 0(ゼロ)」を目標に追加し、今年は美容に関する講座を追加する予定。	将来構想を実現する人材を養成するため、学内 FD・SD 研修、外部研修会等を活用して、教職員の対応力及び資質向上に努めている。 昨年から導入している「退学者 0(ゼロ)」の取り組みを FD・SD 研修で各科の担任が発表し情報を共有している。 今年は美容に関する講座を追加する為、臨床実習施設であったところに、美容鍼灸・マッサージ院として開業している。	教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会及び就職先からのニーズや意見を聴取する機会の増加について検討していく。 「退学者 0(ゼロ)」の取り組みで、学生指導における教員間の認識、対応力が課題である。 近年の美容のニーズに対応できる教員の対応力が課題である。	事業計画書 学校案内パンフレット 本校ホームページ 教育課程編成委員会議事録 研修会参加報告書 学内 FD・SD 研修会抄録
-------------------------------	--	--	---	---

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の教育理念、目的、育成人材像について明確に定めるとともに、その周知に努力している。関連機関等の協力のもとに業界のニーズに沿った対応に努め、育成すべき人材像を構想し、教職員一丸となってその育成に取り組んでいる。 今年度の目標である「退学者 0(ゼロ)」の取り組み、教員間の意識の転換を図るため、FD・SD 研修会を通じ情報を共有している。 美容に関する講座を追加する為、美容鍼灸・マッサージを行う「NISHIJIN CURE Labo マッサージ&鍼灸院・整骨院」を開業した。	地域医療機関の要請を受け、令和 5 年度から歯科衛生科を設置し、2 期生を養成中である。 柔道整復師と鍼灸師の同時受講を可能にするため、令和 6 年 11 月に柔道整復科の午後コースの承認を受け、令和 7 年の入学生を受け入れている。 学生の変遷に対応するため、「退学者 0(ゼロ)」の取り組みを行っている。 近年の美容に関するニーズに対応するため、美容に講座を追加する。教員の技術を上げるため、美容鍼灸・マッサージを行う「NISHIJIN CURE Labo マッサージ&鍼灸院・整骨院」を開業した。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 14 日	記載責任者	大神 啓裕
--------	-----------------	-------	-------

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針は評議員会の意見を踏まえて理事会で決定する。運営方針に則り、毎週、開催される運営会議で運営状況を確認し、学科・分掌会議において具体的な方法が検討・実施される。 毎月行われる教職員等には、全教職員が参加して、理事長より運営方針について、直接周知されている。 今年度も、「退学者ゼロ」への取り組みを学校全体で強化した。各学科や各分掌における取り組みを、FD・SD研修を通じて、教職員全員が情報を共有し対応した。また、学生の自主性を優先とした学校ルール（細則）の改訂への取組みを行い、一定の成果をあげることができた。 業務の効率化を図るためにネットワーク環境を整備している。情報資源の一部をクラウドストレージで利用しウィルスや災害時に備えたバックアップ体制を構築している。情報システムの運用においては、パソコン等の使用規程と情報資産に対するアクセス権限を明確に設定したセキュリティ対策を実施している。	令和7年4月1日から柔道整復科Ⅱ部の設置となり、複数学科の同時受講が可能となる体制を整えた。 環境面においては、校内ネットワークのクラウド化、バックアップ体制の構築を図り情報資産への安全な利用が保障されている。また、LED照明を導入し学習環境の改善を行った。

最終更新日付	令和7年2月1日	記載責任者	小磯 嘉貴
--------	----------	-------	-------

2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	運営方針は評議員会の意見を踏まえて理事会で決定する。教職員会議、学科会議において教職員等に周知徹底する。	少子高齢化を背景とした社会環境において、学生募集活動の強化を行っている。また、「退学者 0 (ゼロ)」に向け学生支援を充実し、学生満足度の底上げを図る。特に学生の自主性を優先とした学校ルール（細則）の改訂を行った。 具体的には学生とのコミュニケーションを強化し、補習などの学習指導、学科間交流による学生の連帯意識の醸成を行った。	少子化を背景とした社会環境において、引き続き学生募集活動の取組強化が課題である。特に卒業生や就職・実習先等との情報交換を強化し、学生募集に繋がるように努める。 学校環境においては、LED 照明を導入し学習環境の整備を行った。	理事会議事録 評議員会議事録 学校会議規程 運営会議議事録 教職員会議議事録 事業計画書 学科会議議事録 学生募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針は評議員会の意見を踏まえて、理事会で決定している。	「退学者 0 (ゼロ)」に向けて学生支援を充実し、学生満足度の底上げを図るため、学生の自主性を優先した学校ルール（細則）を改訂するとともに、LED 照明を導入し学習環境の整備を計った。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 14 日	記載責任者	中村 秀樹
--------	-----------------	-------	-------

2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	事業計画を定め、適切な学校運営に努める方針である。 学科及び校務分掌ごとに年間計画を立て業務を遂行する。	毎年度、事業計画や予算の原案を各学科・校務分掌ごとに作成している。その後、運営会議で取りまとめ、理事会及び評議員会において承認を受けている。 この事業計画書をもとに学校運営を行っている。	事業計画書に基づき、募集活動に取り組んでいるものの、入学者の確保が厳しい状況である。 進路ガイダンス等で進学希望者との接触の機会を増やし、本校の特色を理解してもらうことが必要となる。	事業計画書 理事会議事録 評議員会議事録 運営委員会議事録 学科会議議事録 課内会議議事録 組織図 教職員会議議事録 専門実践職業教育訓練申請書 柔道整復科養成所定員変更承認申請書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年、事業計画を作成し理事会及び評議員会にて承認を得ている。その事業計画の執行状況については、理事会及び評議員会によって検証され、次年度の事業計画に反映されている。	令和7年4月1日に柔道整復科Ⅱ部の設置となり、複数学科の同時受講ができる体制が整った。

最終更新日付	令和7年1月17日	記載責任者	小儀 嘉貴
--------	-----------	-------	-------

2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	寄附行為の規程に基づき、理事会と評議員会を開催して適切な運営を行う。	寄附行為の規定に基づき、理事会と評議委員会を定期的に開催し、組織的運営の方向性の確認とともに、透明性の確保に努めている。 今年度の重点目標であった「退学者率 0(ゼロ)」の取り組みについて、理事会と評議委員会の助言等も踏まえ進められた。	コロナ禍終息後、本校を取り巻く教育環境や社会環境などは大きく変化してきている。 このような中、理事及び評議員から俯瞰的な見地での提言や助言を取り入れ、教育内容を充実させる必要がある。	法人寄附行為 理事・監事・評議員名簿 理事会議事録 評議員会議事録 組織図 学内諸規程 教職員会議議事録
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	適切な学校運営に取り組むため、組織及び規程を整備する。	学校運営において教職員の業務能力の向上のため、学内 FD・SD 及び外部研修を行った。 学校運営にあたっては、今年度学校としての重点目標である「退学者ゼロ」について、研修を通して、各学科が情報を共有することにより様々な取り組みがなされた。	学内 FD・SD 及び外部研修については今後も継続し、教職員が研鑽できる環境づくりをしていく必要がある。 「退学者ゼロ」について今年度の実績を踏まえ分析を行い、引き続き検討、取り組みを充実していく必要がある。	学校会議規程 学校業務規程 組織図 法人寄附行為 FD・SD 研修会抄録

中項目総括		特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）			
寄附行為を遵守して法人運営を行う。運営のために必要な学内諸規程を整備し、組織的な運営を行う。感染症対策において組織的な運営体制が整い、適切な対応が行われた。 FD・SD 及び外部研修などで取り上げられた「退学者ゼロ」について、研修を通じて各学科が情報を共有することによって、様々な取り組みがなされた。		理事及び評議委員からの提案、助言等を基に、コロナ禍終息後の教育環境や社会環境の変化に対応した教育内容を充実させる必要がある。学内FD・SD 及び外部研修については今後も継続していく。			
		最終更新日付	令和7年1月15日	記載責任者	中村 秀樹

2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	事業計画に基づき必要な人材を確保する。勤務規程、給与規程を定めて、必要な人材の確保に努める。	人事は学校運営の状況を加味し、必要な人材を確保し、適材適所に配置している。 勤務規程および給与規程に基づき賃金を定めている。 また、働き方改革の1つである「産後パパ育休」制度を令和7年3月に活用する教員もいる。	教職員の事情に応じた多様な働き方を選択できる環境づくりを進めている。また、人事考課制度の導入等の人事に関する諸制度の整備が求められる。 校務分掌や各科の業務、担当授業によっては「産後パパ育休」の取得が難しい場合があるのが課題である。	勤務規程 給与規程 職員採用規程 教職員名簿 学会参加規程 本校ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職員採用規程に基づき、学校運営の状況を加味し人員の確保や配置を行っている。また、育児休暇やキャリアアップのための支援を行っている。	新型コロナウイルス感染対策のガイドラインに従い、教職員に対する感染対策の指導、教職員の勤務時間短縮の継続を行っている。 また、働き方改革の1つである「産後パパ育休」制度を令和7年3月に活用する教員もいる。

最終更新日付	令和7年1月14日	記載責任者	大神 啓裕
--------	-----------	-------	-------

2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	学校会議規程を整備して、学校運営に必要な意思決定システムを定める。	学校会議規程等に基づき、各会議が開催される。決定した内容を議事録にまとめ、教職員会議等で教職員に周知している。 サイボウズ・Slack を活用することにより、議事録や決定事項等の情報を迅速に共有している。 他科の議事録を共有することによって、学科を超えての情報の共有を実施し業務の効率化を行っている。	教職員によってパソコンの共有フォルダの活用方法や書式の統一化が十分ではない。 マニュアルの統一化を行い、情報の共有をさらに強化させて、業務の効率化を図る。	寄附行為 学校会議規程 理事会議事録 運営会議議事録 教職員会議議事録 各学科会議議事録 総務課会議議事録 国試課会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校会議規程等に基づき、各会議が開催される。決定した内容を議事録にまとめ、教職員会議等で教職員に周知している。サイボウズを活用することにより、議事録や決定事項等の情報を迅速に共有している。	教職員によってパソコンの共有フォルダの活用方法や書式の統一化が十分ではない。 マニュアルの統一化を行い、情報共有をさらに強化させて、業務の効率化を図る。

最終更新日付	令和7年1月7日	記載責任者	山口 祥子
--------	----------	-------	-------

2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率 化を図っているか	業務の効率化を図るため、学 内の情報システムを常に円滑 に稼働させる。 情報システムにおいて利用 されている情報資産に対し常 に高いセキュリティを維持す る。	学内の情報システムは利用 部門ごとに分割されており、情 報資産への安全な利用が構築 されている。 無線通信と有線 LAN によるイ ンターネットの利用が行える 環境を導入している。 情報資源を保護するために バックアップサービスを導入 している。	ICT を活用した授業が行え る環境を整備していく。 情報システムの一部クラウ ド化とインターネットの利用 に対して IT リテラシー教育を 実施する。	パソコン配置図 無線 AP 情報一覧 コンピューター使用ルール ウィルス感染等の防止につい て 個人情報保護規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業務の効率化を図るためにネットワーク環境を整備している。情報資源の一部をクラウドストレージで利用しウィルスや災害時に備えたバックアップ体制を構築している。 情報システムの運用においては、パソコン等の使用規程と情報資産に対するアクセス権限を明確に設定しセキュリティ対策を実施している。	ICT 環境の整備と教職員の ICT 活用指導力の向上を進める。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 14 日	記載責任者	中西 代志弘
--------	-----------------	-------	--------

基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育課程の編成・実施方針、教育到達レベル、進級・卒業要件は、理念・目的・育成人材像に沿った卒業認定の方針に基づいて定めている。この方針やレベルの適正さについて各学科、各学年で定期的に点検する。 教育課程は、教育目的に沿って3つの分野（基礎・専門基礎・専門）に分類し、体系的に編成している。そして、外部委員が参画する教育課程編成委員会や専任教員を中心とした次年度教育内容会議を通して絶えず見直している。キャリア教育についても、学外と連携した臨床実習等の教育課程のなかに組み込まれている。また、授業評価アンケートやFD・SD研修会にて教育能力の向上に努めている。 成績評価は、各種判定会議を開催し、学則及び履修要項の定めた基準に則り単位認定・進級・卒業を判定している。技術等の発表における成果は、実技試験、臨床実習前試験、臨床実習、臨床実習報告会等で評価している。 資格に関しては、医療専門課程の修了者に国家試験の受験資格を与え、(高度)専門士の称号を授与している。新学科についても同様となるよう所轄官署に申請する。資格取得に向けて、科目担当、クラス担任及び国家試験対策課が連携して指導を行っており、国家試験出題基準の変更にも対応する。 教員は、専修学校設置基準及び学科ごとの養成施設指定規則を満たす者を配置しており、各教員は指導力・研究力・臨床力の向上に努めている。そして、学科ごとに副校長、学科長、クラス担任等を置き、学科会議を開催して情報を共有し、組織的に活動している。	教育課程の編成・実施方針については、理念等に沿いながら、行政制度の改正やテクノロジーの進歩等の社会情勢の変化に対応して不断の見直しをしている。 定期的カリキュラム改正を実施し、社会の求めに応じた医療人教育をしている。通常授業の他に、複数学科による多職種連携授業、学年間交流授業、業界役員や海外で活躍する医療人による特別講義等を実施している。また、教育アプリの活用も進めている。授業評価アンケートはGoogle Formを使用し、学生・教員双方の利便性を図っている。 学事システムの導入により、備えるべき表簿の電子化、成績評価表や帳票作成の効率化を実現している。今後、災害対策として電子データのクラウドバックアップを導入する予定である。 国家資格以外にも、職業に関連した民間資格（運動指導、美容、放射線取扱 他）のセミナー等を開催して取得機会を提供している。さらに、国家試験対策課が主導して、必要に応じた補講や補習を実施している。 教員が、学科や分掌を越えた交流ができる環境を構築しており、周辺業務にも携わることで幅広い視点やマルチタスクスキルを身に付けている。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 21 日	記載責任者	藤瀬 正
--------	-----------------	-------	------

3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	理念等(教育理念、教育目的、育成人材像)に沿って、卒業認定の方針に基づく教育課程の編成・実施方針を定める。	外部の意見や社会のニーズを取り入れながら、理念等に沿った教育課程の編成・実施方針を定めている。	現在定めている教育課程の編成・実施方針について、改良の必要性を検討する。	学則 3つのポリシー シラバス 学校パンフレット
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	学科ごとに定めた卒業認定の方針に基づき、教育到達レベルと進級・卒業要件を定める。	各学科、各学年に対し教育到達レベルを示し、進級・卒業要件を定めている。	各学科、各学年の教育到達レベルの適正さについて定期的に点検する。	学則 履修要項 シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念等に沿って卒業認定の方針に基づき、教育課程の編成・実施方針、教育到達レベル及び進級・卒業要件を定めている。 この方針やレベルの適正さを各学科、各学年で定期的に点検する。	教育課程の編成・実施方針については、理念等に沿いながら、行政制度の改正やテクノロジーの進歩等の社会情勢の変化に対応して不断の見直しをしている。

最終更新日付	令和7年1月16日	記載責任者	田淵 弘太郎
--------	-----------	-------	--------

3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	教育目的に沿った養成人材像や卒業認定の方針に基づき、その達成に向けた教育課程を体系的に編成する。	教育目的に沿って、3つの分野（基礎、専門基礎、専門）に分類した体系的な教育課程を編成している。	令和5年度新設の歯科衛生科のカリキュラムが教育目的に沿っていることを点検する。	学則 3つのポリシー シラバス
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成委員会を開催し、外部の意見を反映する。 委員は本校及び関連業界の役職者や有識者で構成する。	外部委員の参画する教育課程編成委員会や専任教員中心の次年度教育内容会議で教育課程を絶えず見直している。	歯科衛生科についても、教育課程編成委員会の開催が必要となる。	学校会議規程 教育課程編成委員会議事録 次年度教育内容会議議事録 職業実践専門課程の基本情報
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	社会的・職業的自立に向けて、教育課程のなかで職業教育を行い、職業観を涵養する。	学外と連携した臨床実習等を含む体系的な教育課程を通じて職業観を育成している。	カリキュラム改正等に際し、キャリア教育に適した教育課程を組む必要がある。	学則 シラバス 職業実践専門課程の基本情報
3-9-4 授業評価を実施しているか	学生や教員による授業評価を実施し、教育能力の向上を図る。	学生の授業評価アンケートやFD・SD研修会を実施し、教育能力の向上に努めている。	ヒアリングを行い、アンケート内容の改良を検討する。	授業評価アンケート結果 FD・SD研修会抄録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目的に沿って、3つの分野（基礎、専門基礎、専門）に分類した体系的な教育課程を編成しており、外部委員の参画する教育課程編成委員会や専任教員を中心とした次年度教育内容会議を通して教育課程を絶えず見直している。 臨床実習等を含む体系的な教育課程を編成してキャリア教育を実施している。授業評価アンケートやFD・SD研修会にて教育能力の向上に努めている。	定期的にカリキュラム改正を実施し、社会の求めに応じた医療人教育をしている。通常授業の他に、複数学科による多職種連携授業、学年間交流授業、業界役員や海外で活躍する医療人による特別講義等を実施している。 また、教育アプリの活用も進めている。授業評価アンケートはGoogle Formを使用し、学生・教員双方の利便性を図っている。

最終更新日付	令和7年1月14日	記載責任者	藤井 和彦
--------	-----------	-------	-------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学則及び履修要項で定めた成績評価・修了認定基準に従い、進級・卒業判定を行う。	各種判定会議を開催し、単位認定・進級・卒業・既修得単位認定を基準に則り判定している。	新設学科についても各種判定会議にて、単位認定・進級・卒業・既修得単位認定を判定する。	学則 履修要項 進級判定会議議事録 卒業判定会議議事録
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	実技科目や臨床実習を体系的に編成し、その習熟度や成果を成績に反映する。	実技試験、臨床実習前試験、臨床実習、臨床実習報告会等で成果を評価している。	実技や実習の評価が到達目標に即した内容になっているかどうかを毎年見直す必要がある。	実技審査結果 実習評価表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各種判定会議を開催して、基準に則り単位認定・進級・卒業を判定している。新設学科についても同様に遂行する。 実技試験、臨床実習前試験、臨床実習、臨床実習報告会等で成果を評価している。	学事システムの導入により、備えるべき表簿の電子化、成績評価表や帳票作成の効率化を実現している。災害対策として電子データのクラウドバックアップを導入した。

最終更新日付	令和7年1月16日	記載責任者	田中 初枝
--------	-----------	-------	-------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	各学科の医療専門課程を修了した者には、国家試験の受験資格を与え、(高度)専門士の称号を授与する。	課程修了者に、柔道整復師、はり師きゅう師、理学療法士、診療放射線技師、看護師の国家試験受験資格及び(高度)専門士の称号を与えている。	新設の歯科衛生科も令和 7 年度に専門士の称号を授与できるように所轄官公庁への申請を行う。	学則 学校パンフレット 学生募集要項
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	国家試験対策課を設置し、資格取得のための指導体制を構築する。	科目担当、クラス担任及び国家試験対策課の連携により、きめ細かく指導している。	令和 6 年度から変更される診療放射線技師の国家試験出題基準に対応する。	学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
医療専門課程の修了者には国家試験の受験資格を与え、(高度)専門士の称号を授与している。新学科についても同様となるよう所轄官署に申請する。 資格取得に向けて、科目担当、クラス担任及び国家試験対策課が連携して指導を行っており、国家試験出題基準の変更にも対応する。	国家資格以外にも、職業に関連した民間資格（運動指導、美容、放射線取扱他）のセミナー等を開催して取得機会を提供している。 国家試験対策課が主導して、必要に応じた補講や補習を実施している。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 8 日	記載責任者	西野 達也
--------	----------------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	文部科学省令及び厚生労働省令に準拠した教員を確保する。	専修学校設置基準及び学科ごとの養成施設指定規則を満たす教員を配置している。	令和 7 年度に定員(クラス)が増える柔道整復科は、次年度の担当教員と打合せを行う。	文部科学省令 厚生労働省令 学校基本調査票
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の経験等に応じて知識や技術の研さんが積めるように支援する。	指導力・研究力・臨床力向上のため、研修会参加の助成、学位取得の推進、FD・SD研修会や臨床研修日を設けている。	首都圏等での研修会はオンラインも活用し参加の機会を増やす。	学会参加規程 研修等の実績及び計画 FD・SD研修会抄録
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員組織における業務内容や責任体制を明確にし、組織的に活動する。	学科ごとに副校長、学科長、クラス担任等を置き、学科会議を開催して情報を共有している。	教員間で教育アプリケーション等を活用し、情報共有のスマート化を図る。	学科担任表 学科会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専修学校設置基準及び学科ごとの養成施設指定規則を満たす教員を配置しており、各教員は指導力・研究力・臨床力の向上に努めている。 学科ごとに副校長、学科長、クラス担任等を置き、学科会議を開催して情報を共有し、組織的に活動している。	教員が、学科や分掌を越えた交流ができる環境を構築しており、周辺業務にも携わることによって幅広い視点やマルチタスクスキルを身に付けている。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 20 日	記載責任者	坂主 充史
--------	-----------------	-------	-------

基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
コロナやインフルエンザの感染症に対して感染症対策マニュアルに沿って安全な学習環境を維持しながら、年間を通して学内講義、学外実習等の教育カリキュラムを順調に遂行した。学修成果については、中間試験、期末試験、進級試験、実技試験、臨床実習報告会のほか、昨年同様に学力把握のための国家試験形式の試験、実力試験、模擬試験等を計画的に実施した。その結果データを教員全体で共有し、授業、実習や補習等に生かしながら、学生の学習意欲、学力の向上を図った。さらに、将来の夢の実現のためのキャリア教育にも注力し、コロナ禍で中断していた海外研修を実施、セミナーでは各科との学生交流、スポーツ交流などを行った。最上級生においては、国家試験の難易度上昇も考慮して講義形式による補習だけでなくグループワークや個別指導を取り入れ、細やかな学習指導を行った。各学科の国家試験の合格率は全国平均より高く、95.9%～100%を達成した。また、学習効率を高める工夫として最上級生になる前の学年から学習内容に応じた実力試験、国家試験対策課題と模擬試験などを行い、低学年から学習意欲を促すようにした。 卒業生の動向や社会的評価は、校友会（本校卒業生の団体）、卒業生が勤務する実習先への訪問、研修会への参加等で把握するほか、計画的に本校での講演会を実施し、多数の参加を得て卒業生の動向の把握に努めている。 就職活動や就職率については、各学科に配置された専任の就職支援担当教員と担任が連携して就職活動を早期に進める環境づくりを目指した。オンラインによる企業説明会や遠隔面接でのマナー・態度を個別に指導した。一方で国家試験に向けた学習や学外臨床実習と就職活動との両立が課題である。外部医療機関の実習指導者と緊密に連携し、求人動向、人材育成などの情報を収集するとともに、学生に最新の情報、資料を効率的に閲覧・活用できるよう改善していく。全体の求人倍率は 70.9 倍となり、全学科において卒業生実数を上回り、就職率は 92%（3 月 28 日現在）を達成した。	今年度も 1 年次での早期退学者ゼロを目指し、年 2 回の FD・SD 研修の中で各科の取り組みの発表と意見交換を行い、現状を分析しながら教員全体で検討を重ねている。 来年度は歯科衛生科 1 期生が初めて国家試験を受験するため、他科と同様低学年での実力試験など早めの対策を実施した。 キャリア形成に関連して、パリオリンピック選手団にレスリング代表トレーナーとして同行された本校卒業生で鍼灸師のほかアスレティックトレーナーでもある秋山未来先生の特別講演を拝聴した。

最終更新日付	令和 7 年 2 月 5 日	記載責任者	谷口 邦久
--------	----------------	-------	-------

4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13 就職率の向上が図られているか	未来の医療人としての礎を築くため、学生一人ひとりの個別ニーズに応じた支援に力を注ぎ、自己実現の可能性を最大限に広げる環境を整えている。 全学科で外部医療機関での臨床実習を継続的に行い、現場の最前線で活躍する実習指導者と緊密に連携して、幅広い情報交換を通じて、今後の人材育成や求人動向に対応するための情報を収集した。 こうした取り組みを通じ、効果的な就職支援を提供し、学生が充実した医療人生を歩む基盤を築いた。	就職率 92% (3 月 28 日現在) という成果は、各学科に配置された専任の就職支援担当教員と担任が連携し、きめ細やかな支援を提供してきた取り組みの結果ある。今年度もこの体制を活かし、学生一人ひとりの希望に寄り添った支援を展開した。 5～6 月の就職セミナーでは、昨年度の成功事例や履歴書作成のノウハウを丁寧に解説し、学生が効率的かつ自信を持って就職活動に取り組める環境を整えた。 さらに、Zoom を活用したオンライン企業説明会や遠隔面接が普及する中、遠隔面接に必要なマナーやテクニックを指導するプログラムも導入し、学生が新たな就職環境に対応できるようサポートを強化した。	就職活動を早期に進める環境づくりを目指し、計画的なセミナーを実施している。この取り組みによって一部の学生には成果が見られる一方、国家試験準備との両立が課題となっている。 学生がモチベーションを維持しつつ危機感を持ってキャリア形成に取り組めるよう、プログラムの改善や学生の積極的な取り組みへの促しが必要である。 セミナーや関連イベントでは、より効果的な手法を採用し、学生が主体的に情報収集しやすい形式を導入することで、積極的かつ自律的に進路を考えられる環境を整えることが求められる。そのため、求人票やパンフレットなどの資料についても、学生がより効率的に閲覧・活用できるよう改善を進める方針である。	学校案内パンフレット 求人情報閲覧用資料 就職先・求人先訪問データ 卒業生の就職者データ(数、率) 就職活動報告書 就職支援セミナー報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各学科の就職率 92%（3 月 28 日現在）の実績は、これまでの卒業生の社会的評価、日々の教職員の指導及び就職支援室を中心とした積極的な支援・活動により積み上げられた成果である。 今後も学生がより充実した就職活動に取り組めるよう、計画的かつ効果的な支援を進め、早期から余裕を持って活動に臨める環境づくりを目指していく。このようにして、学生が自身のキャリアを築き、豊かな未来を切り拓けるよう、引き続き力強い支援を提供していく。	次年度以降は歯科衛生学科も加わり 6 学科となる。各学科とも学外実習を計画しているため、実習先との密接に連携し、就職率向上に向けた取組みを充実する。

最終更新日付	令和 7 年 3 月 5 日	記載責任者	坂口 文宏
--------	----------------	-------	-------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14 資格・免許取得率の向上が図られているか	国家資格取得に向けた取組みを入学年次から実施する。 最上級生に対しては、模試を定期的に行い、成績が基準に満たない学生に対して補習を実施する。	低学年については、定期的に国家試験に準じた形式の試験を行い、国家試験の形式や出題範囲、傾向等を把握させ最上級生に進級した際に必要な学習内容を意識付けするとともに、学習意欲の向上を図る。 特に、最上級生になる前の学年においては、9月から国家試験対策課題と模擬試験を行い、早期からの学習を促す。 最上級生に対しては、定期的に行う模試により理解度を評価して補習内容・方法等を修正し、より理解度を深める。	国家試験の出題範囲の広がり、より臨床に即した出題、現在の社会情勢に照らし合わせた出題等、年々難易度が上がっている。 最上級生については講義形式による全体指導での理解には限界があり、グループワークや個別指導等を実施し、難易度の上昇に対応する必要がある。	学校案内パンフレット 国家試験合格者状況表 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
国家試験の難易度の上昇に適応するため、従来の講義形式による補習だけでなく、グループワークや個別指導等を実施する。	来年度は歯科衛生科1期生が国家試験を受験するため、対策を実施した。

最終更新日付	令和7年1月14日	記載責任者	富永 忠雅
--------	-----------	-------	-------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の社会的評価を把握するには、卒業生とのつながりを強固に保つ必要がある。そのために校友会を組織し、卒業生の現況と社会的評価を把握する。	卒業生と在校生、卒業生間、卒業生と教職員との交流を図ること、そして現況の把握と社会的評価についての聞き取り、フォローアップを加えること等を目的として、年2回の校友会を実施している。	卒業生の活動把握のため、校友会参加者等の情報を参考にしながら現況把握に努めていく。 今後は卒業生にとって魅力的な校友会を企画する。 卒業生が勤務している臨床(臨地)実習先への訪問や研修会への参加により、卒業生の動向と社会的評価を聴取する。	校友会名簿 学校案内パンフレット 本校ホームページ 校友会案内

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
卒業生の社会的評価を把握するには、卒業生の現況を捉える必要がある。今後は卒業生にとって魅力のある校友会を企画する。また、臨床(臨地)実習先への訪問や研修会への参加により、卒業生の動向を聴取する。	特になし

最終更新日付	令和7年1月14日	記載責任者	富永 忠雅
--------	-----------	-------	-------

基準5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職について、全体の求人倍率は70.6倍（令和7年2月28日現在）であり、全科で卒業生実数を上回っている。今後も学生が充実した就職活動に取り組めるよう支援体制を整える。 中途退学への対応としては、今年度「退学者0（ゼロ）」を目標に掲げ、全教職員で取り組んだ。主にクラス担任が中心となり学生の学業面や生活面を含めサポートを行った結果、退学者率が低減した。今後も学生生活の満足度も高めつつ学業支援を進め、退学率低減を目指していく。 学生相談、学生生活については、学生よりLGBTなど「性」に関する申告もあり、各クラスに複数の担任を置き学生対応を行った。今後、多様な学生に対し、専門知識を持った心理的サポート人材の養成・配置が課題となる。 経済面での支援として、奨学金の利用を中心に、担任と奨学金担当者で情報を共有し対応している。公的な奨学金及び高等教育の就学支援制度を利用している学生数は全体の60%程度である。奨学金制度も年々変わっていくため、制度への理解を深め学生支援に努める。 保護者との連携については、学習面や精神面での不安がみられる学生もいることから、学習態度や定期試験の結果、欠席状況等ふまへ保護者と密に連携を図りながら学生生活への支援体制を整えている。 卒業生・社会人との連携について、今年度は校友会を2回開催し、講演や就職相談を通じた交流を図った。また、医療関連団体や企業との連携を図り、学会や講演会に参加した。これら交流により得られた情報をもとに、業界や社会のニーズを取り入れたカリキュラムを編成し、卒業生、在校生ともに充実した支援環境を整備していく。	令和7年度から、これまでの5科（理学療法科、診療放射線科、看護科、柔道整復科、鍼灸科）に、新たに歯科衛生科を加えた全6科の学生が就職活動対象となる。 奨学金関係について、全学生の約60%が貸与型奨学金、約20%が高等教育の就学支援新制度を利用している。

最終更新日付	令和7年2月1日	記載責任者	田中 七郎
--------	----------	-------	-------

5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	学生一人ひとりの希望進路を実現するため、学生支援課内の就職支援室を中心に、クラス担任と密接に連携しながら支援体制を整えている。 年度初めに実施したセミナーでは、早期就職活動を円滑に進めるための具体的なサポートを提供した。 これからも、情報提供の充実やキャリア形成支援プログラムの拡充を通じて、学生が自ら進路を明確にし、積極的に就職活動に取り組める環境を整備していく。	学生が就職活動を円滑に進められるよう、今年も学生支援室を早期に開放し、求人票の閲覧をはじめとする情報提供を積極的に展開している。また、先輩たちの就職体験記を整備し、学生がいつでも参考にできる環境を整えた。 さらに、就職支援室では本校独自の履歴書を作成し、その見本を学生支援室に設置。学生が必要な際にすぐ参照できる体制を整えた。 加えて、関連する医療施設等、企業との情報交換においては、積極的に連携強化に努めた。	就職活動の早期化が進む中、学科ごとに開始時期のばらつきが目立つようになっている。この状況に対応し、学科ごとに柔軟で効果的な支援策を構築することが重要な課題と考える。 特に看護師求人では、2年次終盤から活動が始まる傾向があるため、早期の情報提供やサポート体制の強化が必要とされる。 さらに、就職セミナーの内容も学生が安心して活動を進められるよう、より実践的で効果的なものへと改善が求められる。 これらを通じて、学生が自分の目標に向けて確実に進路を構築できるよう、支援体制の充実を図っていくことが重要である。	組織図 学校案内パンフレット 就職試験報告書 就職試験内容記録 就職説明会案内 就職支援セミナー報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生が充実したキャリアを築くとともに、就職率 100%達成を目標に、就職支援室では担任との連携を強化しながら支援活動を展開した。 就職相談や模擬面接といった具体的なプログラムを通じ、学生一人ひとりのニーズに応える体制を整備した。 来年度に向けては、歯科衛生科の就職活動も始まるため、歯科衛生士の就職活動の特長・傾向を踏まえた指導準備を整える。学生が早期からスムーズに活動を進められるよう、支援を一層強化していく。 時代の変化に柔軟に対応し、学生が安心して進路を選択し、自己実現を果たせる環境を提供することを目指す。	令和 7 年 3 月卒業生に対する就職求人倍率は、理学療法科 60.0 倍、診療放射線科 9.9 倍、看護科 181.1 倍、柔道整復科 48.0 倍、鍼灸科 23.3 倍であった（令和 7 年 3 月 18 日現在）。

最終更新日付	令和 7 年 3 月 5 日	記載責任者	坂口 文宏
--------	----------------	-------	-------

5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	学生の退学要因となる様々な要因（経済的困窮、学業の遅れ、人間関係、進路迷いなど）を早期に発見し、学生と共に解決できるよう学生一人ひとりに寄り添う支援を提供していく。 複数名の担任を配置するとともに学内に学生支援室を設置し、学生が安心して学生生活を送れるように、個別支援とメンタルヘルスの強化に努める。 積極的な三者面談等の機会を設け、家庭との連携構築を図る。 「退学者0（ゼロ）」を学校全体の目標として掲げ、学校生活を楽しく円滑に過ごせるようにする。	「退学者0（ゼロ）」を教員全員の目標とし、学生が有意義な学校生活を送れるよう取り組んでいる。特に、新入生に対して、早期に学習や学生に馴染めるようにスポーツ大会、時間外の勉強会やレクリエーション等を実施している。 教員も毎年、授業内容の改善を図るとともに各学科における退学者減少に向けた対策や成果をSD研修会等で全教員で共有している。学習面では、成績が伸び悩む学生に対し、家族も含めた面談を実施し、情報の共有と学習面の課題に対する対策を講じている。 経済面では、高等教育の修学支援新制度等の奨学金の活用を積極的に促し、学修に専念できるようにしている。 これらのことについては、定期的（週一回）な学科会議や運営会議等で情報を共有し、学校全体で対策を検討することによって、退学者数低減に努めている。	時期により学生の意識や資質が異なることから、退学者低減に向けた ①定量的目標、②定性的目標、③早期介入目標を定め、年度ごとに教員の意識を新たにしていく必要がある。 1年生の退学率、学校全体の退学率は前年よりも減少しているが、継続的に退学者低減に向けて、学校全体での取り組みを継続する。 入学前に入学予定者登校日を設け、健康医療に携わる職業意識の確認と在校生も交えての交流を図る。 入学後は健康医療系の学業に興味を深め、馴染めさせることを教員が常に意識しながら対策を講じる。 学内セミナーの充実や学科の垣根を超えた合同授業、卒業生を招いた特別講義などを積極的に実施し、職業観を深める。 学習面、生活面、経済面の問題解決に向けたサポートを、担任、担当教員、担当課で適切に対応できる組織力を構築する。	組織図 学生個人連絡票 Campus Magic FD・SD 研修会抄録 学生面談記録 各科内会議議事録 教職員会議議事録 学校ホームページ・SNS

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校全体で「退学者 0（ゼロ）」を目標に、全教員で取り組んできた結果、退学者率を低減することができている。これからも教員が常に学生の最善を意識し、学業上の支援について改善を図るとともに、教員自体も個々の素養を高め、学校の目標として退学率低減に向けての取り組みを充実することが重要である。 健康医療分野の国家資格を取得する人材の育成には、職業に対する技能や知識を形成するための学習面のサポートだけに止まらず、学生個人の資質や人格を高め、有意義な学生生活を送れるような学生支援を行う。そして学校生活の満足度向上に努めて、退学率の低減と国家資格取得率の向上に努める。	特記事項なし。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 15 日	記載責任者	川島 英敏
--------	-----------------	-------	-------

5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	学生が抱える問題や悩みは学内・外にかかわらず、多種多様である。何か問題が生じた場合には、すぐに報告を行い、教職員全員で対策を考え、迅速に対応する。 資格取得に向け、安心して有意義な学生生活が送れるように、学習面、経済面及び健康面をサポートしていく。	複数担任制により学生とのコミュニケーションを図りやすいようにし、問題を抱えた学生の早期発見に努めている。 学生には、学内外を問わず、問題があれば、すぐに報告するように徹底している。 担任もすぐに報告し、学科内で解決できない場合には、学校全体で検討ができるような体制を整えている。 学生支援室を設置し、奨学金の活用など経済的な問題、就職等の相談に担当職員が対応している。 健康面については付属臨床施設（クリニック、整骨院、鍼灸院）にて学生の健康面もサポートしている。	学生からの LGBT など性に関する申告も少なからずあるが、専門的なアドバイザーがおらず、今後、それらの問題に対応できる教職員の養成が必要である。専門的な知識を持った担当者の育成やスキルの向上を種々の研修会等の参加によって培っていく。 奨学金利用者の割合は半数以上を占めている。国の経済的な修学支援策を教職員全員が理解し対応できるよう、SD 研修会など学内勉強会を実施していく。 外部からの啓発情報の学生への伝達は classroom を通じて周知している。	組織図 課内会議議事録 学生支援室日誌 学生支援室利用簿 学生面談記録 学生要覧 FD・SD 研修会 Classroom 日本学生支援機構奨学金制度

5-18-2 留学生に対する 相談体制を整備しているか	相談対応の教職員を配置し、 受け入れ時や在学中の支援体制を整備する。	現在、留学生の在籍なし。 (過去の実績) 韓国からの留学生 1 名 (令和 5 年 3 月 診療放射線科 卒業 同年同月 国家試験合格)	今後、留学生の受け入れ、在 学中のサポートが円滑にでき るよう体制を整えていく。	中長期在留者の受入れに關する届出 留学生調査票
--------------------------------	---------------------------------------	--	--	----------------------------

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学時に LGBT など性に関する申告も複数あったが、各クラスに複数の担任を置き学生対応を密に行った結果、大きな問題はなかった。しかし、相談に専門的に対応できる教職員は少なく、その養成が今後の課題である。 奨学金の利用を中心に経済的な相談に対し担任と奨学金担当で情報を共有しながら対応している。奨学金制度も年々変わっていくため、制度の理解を教職員に深めていく。	特になし。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 15 日	記載責任者	石橋 大輔
--------	-----------------	-------	-------

5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	経済的問題により学校へ通うことができなくなることがないように日本学生支援機構の奨学金を利用できるように情報を公開していく。 学生の経済情報は担任が把握していることが多いため、担任からの情報を共有できる体制づくりを整備する。 資格取得に向け、安心して有意義な学生生活が送れるようサポートしていく。	経済的支援として日本学生支援機構の奨学金及び高等教育の修学支援新制度を整備している。 多子世帯への支援が追加されているため学生連絡票から多子世帯の学生を検索している。多子世帯で給付奨学金を受給していない学生に対しては、こちらから声掛けをしている。	各科奨学金担当者を決め、その担当で1次チェック、その後責任者で2次チェックを実施している。 日本学生支援機構の多子世帯への支援制度が変更となるため、担任に対し変更点を周知徹底させ、学生に広く対応できるようにしていく。 また、学生との情報共有を確実にするため、Google class room等を使用し学生全員に情報が提供される環境を目指す。	本校ホームページ 日本学生支援機構ホームページ 文部科学省ホームページ 厚生労働省ホームページ 福岡県庁ホームページ
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	定期健康診断を全学生に対し年1回実施する。 体調不良や怪我等があれば併設のクリニック・整骨院・鍼灸院にて、すぐに受診ができることを学生に周知徹底していく。 感染症対策として手洗いの励行、マスクや予防接種等を積極的に案内する。	年度初めに全学生を対象に行う健康診断を実施し、体調管理を徹底している。 欠席した場合は、担任から学生へ連絡を入れ、体調確認を実施している。	体調不良をきっかけで長期欠席となり不登校になる学生も散見されている。担任から学生への連絡を密にとっている状況ではあるが、長期に及ぶと連絡がつかなくなるケースが多い。保護者との連絡が重要となるため、必要に応じて連絡を入れるようにしている。	組織図 健康管理規程 見舞金申請書 学生要覧

5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	遠隔地から就学する学生はもちろん、学生が学校生活を送ることに對して安心できるように、環境を整備する。	提携寮を4か所(男子寮1か所、女子寮1か所、共同寮2か所)指定している。 寮母常駐・食事付き等、学生と保護者が共に安心できる環境を整えている。オープンキャンパス時にも積極的に寮案内を実施し、遠方からの就学に対する不安の低減に努めている。	入学時に不安定な心理状況の学生や朝起きることができない学生に対しても寮母と連携を取り対応している。 また、寮生の欠席が長引いた場合は寮母と連絡を取り、様子の変化や声掛け等を実施している。	本校ホームページ 学校パンフレット 学生寮パンフット
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	クラブ活動や課外活動を積極的に推奨している。募集等があった場合は学生へ情報を提供し、職業理解に繋がるよう支援している。	様々な部活動が専門学校体育大会へ参加しやすいようスケジュール設定や授業計画を組んでいる。今年度も多くの種目にエントリーした。 また、福岡マラソン2024のボランティア活動も実施され、積極的に学生が参加している状況にある。 次年度も積極的に課外活動に対し支援していきたい。	4月から部活動勧誘のポスター掲示や練習会の参加案内を、1年生中心に広く告知した。また、福岡市の体育館やグラウンドを使用しての活動が主となるため、協力して練習場所の確保に努めている。 より多くの学生の参加を目標にしているので、今後も継続して募集を実施していく。	本校ホームページ 学校パンフレット 学生要覧 救護ボランティア報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
公的な奨学金及び高等教育の就学支援制度を利用している学生は全体の60%となっている。 学生寮に関しては提携寮を設置し、遠方からの就学生や保護者の就学に関する不安意識の低減に努めている。 課外活動は今後も継続的に募集や告知を続け、学年、学科の垣根を超えた交流を深めていく。	全学生の約60%が貸与型奨学金を利用している。 全学生の約20%が高等教育の就学支援新制度を利用している。

最終更新日付	令和7年1月14日	記載責任者	柿木 邦友
--------	-----------	-------	-------

5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	学生の学習面や学校生活に変化や問題があれば、学生本人だけでなく保護者とも状況を共有し、協力して解決していく。	学生個人連絡票と連絡網を毎年作成・更新し、平時だけでなく緊急時もすぐに保護者と連絡が取れるよう整備し、運用している。各定期試験後には、成績等に応じて保護者を含めた三者面談を実施し、学習面や学校生活の早期改善に取り組んでいる。さらに、出席状況などに問題がある場合は、日頃から保護者と連絡を取り、状況を共有している。また、無断欠席や学生との連絡が取れない状況においては保護者へ連絡を行い、速やかに学生の安全確認を行っている。奨学金に関する保護者からの問い合わせに学生支援課を窓口として対応を常時行っている。	保護者の来校が困難な場合には、Zoom などのオンラインツールや書面を利用して情報を共有していく。書面での状況報告だけでは、保護者の理解状況が把握できないケースもあるため、今後も密に保護者とコミュニケーションを取り、必要な情報が確実に共有されるように取り組んでいく。 一人暮らしの学生の保護者は来校機会が限られるため、入学式での奨学金対応の継続も保護者のニーズ充足に効果的と捉え、継続する。	学生個人連絡票 学生連絡網 学生面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学習状況のみならず、近年は精神的に不安定となりやすい学生の傾向もあり、保護者の不安も大きくなっている。そのため、今後も密に連携を図ることで学生が安心して学校生活を送れるようにするとともに、保護者も安心できるように支援体制を整えていく。入学式や卒業式を活用し、保護者が来校する機会に合わせた支援も継続していくことで、信頼関係の構築に努めていく。	特になし。
最終更新日付 令和 7 年 1 月 26 日 記載責任者 大森 幸江	

5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	校友会を組織し、卒業生と教職員及び在校生の連携が取れる環境を整える。 求人情報の交換やキャリアアップの支援が実施できる環境を整える。	校友会を6月と11月にした。卒業生、教職員及び在校生が参加する。校友会では外部講師(本校卒業生を含む)を招いた講演や就職相談を実施している。	卒業生の参加率は、学科によって偏りがあるのが現状である。より多くの卒業生が興味を持って積極的に参加するような内容を検討していく必要がある。	本校ホームページ
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	在学時から関連団体の学会等に参加し、卒業後も各団体の学会や研修会への参加を促す。 校友会と連携しながら、各団体より外部講師を招聘し、卒業生を対象に技術講習会や勉強会を実施する。	在学時から関連団体や企業と連携を図り、講演会や研修会に参加している。 また、関連団体の研修会や卒業生が主催する勉強会の際には、本校の施設を会場として提供している。	卒業後のキャリアにおいて、常に知識や技術の更新が求められる。今後、さらに学校と関連団体や企業が連携し、ニーズにあったプログラムの開発に取り組む必要がある。	学校案内パンフレット 本校ホームページ
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人は、キャリアアップやスキル向上を目的として入学することが多いため、より実践的な内容が学べる環境を整備する。 また、仕事と学業を両立させられるようなカリキュラムの整備が必要である。	正規課程とは別に、より実践的な内容が学べるコースの設置やセミナーを実施し、即戦力となるための知識や技術が学べる環境を整えている。 また、柔道整復科、鍼灸科、理学療法科については午前みの講義となっており、働きながらも資格が取得できるカリキュラムとなっている。	幅広い年齢層の学生が同じ教室で学習するため、授業の内容や進行が社会人のニーズに合わなくなることも考えられる。社会人のニーズを踏まえたセミナーを実施するなど、より実践的な知識や技術が学べる環境を拡充していく。	学校案内パンフレット 本校ホームページ セミナー予定表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今年度は校友会を 2 回開催し、講演や就職相談を通じて卒業生との交流を図った。また、関連団体や企業と連携を図り、学会や講演会に参加した。このような交流を通じて、業界や社会人のニーズを取り入れたカリキュラムを作成し、卒業生、在校生に対する充実した学習環境を整備していく。	医療系国家資格への関心が高まる中、今後も社会人の入学が予想される。社会人学生のニーズを把握するとともに、よりよい教育環境、教育を維持増進できるように整備していく必要がある。 また、卒業生への支援や情報収集ができるように、校友会との連携をさらに強化していく必要がある。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 14 日	記載責任者	岩瀬 惇平
--------	-----------------	-------	-------

基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設、設備については、設置基準等を十分に満たしており、教育課程上で必要な施設・設備・教育用具等を整備するとともに定期的に点検している。また、令和 7 年度の柔道整復科定員増に伴い、必要となる施設・設備を整備した。 学外実習は、実習先との指導者会議で情報や認識を共有し、教育課程に沿って体系的に臨床実習を実施している。感染症対策は引き続き施していく。海外研修は、ハワイを実施し、台湾を地震のため中止にした。次年度は、韓国も加わり選択肢が増える。今後も国際情勢を考慮しつつ新たな研修先を開拓する。台湾でも実施していた解剖実習は、国内のみに集約し効率化する。 防災については、消防計画に従い施設・設備検査と防災訓練を実施するとともに、火災発生時のマニュアルを整備している。避難経路の一部を見直し、より高い防災管理を目指す。 安全管理については、学生・学校向け保険に加入し、怪我人・病人対応マニュアルを整備している。情報共有アプリを活用して、安全管理の情報を発信する。	共同学習室や図書館内のラーニングコモンズ、複数の多目的室を備え、グループ学習等を推進する環境を整えている。また、複数のサーバーを一元化することにより、学生用のデータ容量の最適化を図るとともに、学習環境向上のため Wi-Fi 通信速度の改善を行った。 学外実習は、学内実習等と組み合わせて効果的かつ効率的な実習になるよう工夫している。また、コロナ禍で培われた感染症対策を継続することも、医療者の自覚を涵養する職業教育となっている。 海外研修は、異文化に触れ、他国の医療を肌で感じることをとおして改めて自国を理解する良い機会となっている。 緊急時の連絡網や安全管理の情報共有の手段として、従前の電話連絡網に加え、情報共有アプリやメール、インターネットを活用している。 インフルエンザワクチンの早期接種の実施など、現在の感染状況に即した安全衛生管理を行っている。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 21 日	記載責任者	藤瀬 正
--------	-----------------	-------	------

6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	専修学校設置基準及び養成施設指定規則等を満たす施設・設備・教育用具等を整備する。教育課程上で必要となる施設・設備・教育用具等を備える。	方針に則り施設・設備・教育用具等を整備しており、定期的に点検するとともに、次年度教育内容会議において見直しを行っている。 柔道整復科定員増に伴い、施設・設備等を整備した。	5号館や4号館の老朽化に伴い、校舎改築を検討する必要がある。	校舎各室の用途・面積一覧表 機械器具・標本・模型の目録 教育用機器備品チェック表 次年度教育内容会議資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
設置基準等を十分に満たしており、教育課程上で必要な施設・設備・教育用具等を整備するとともに定期的に点検している。 令和7年度の柔道整復科定員増に伴い、施設・設備等を整備した。	共同学習室や図書館内のラーニングコモンズ、複数の多目的室を備え、グループ学習等を推進する環境を整えている。 複数のサーバーを一元化することにより、学生用のデータ容量の最適化を図るとともに、学習環境向上のためWi-Fi通信速度の改善を行った。また、教務課、国家試験対策課の情報漏洩防止のため共用端末の仮想化を推進する。

最終更新日付	令和7年1月 8日	記載責任者	西野 達也
--------	-----------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	教育課程に沿って、学外の臨床実習施設と連携し、職業教育を体系的に行う。 グローバルな視点を育み、見聞を広げるために海外研修を実施する。	学外実習は、実習指導者会議で情報や認識を共有し、体系的に臨床実習を実施している。 海外研修はハワイを実施。台湾は地震で中止した。次年度は韓国も加わり選択肢が増える。	学外実習や海外研修において、必要な感染症対策は引き続き施していく。 国際情勢を考慮しつつ研修先を新規開拓する。解剖実習は国内のみに集約し効率化する。	シラバス 臨床実習マニュアル 実習指導者会議議事録 学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外実習は、実習先との指導者会議で情報や認識を共有し、教育課程に沿って体系的に臨床実習を実施している。感染症対策は引き続き施していく。 海外研修は、ハワイを実施し、台湾を地震のため中止にした。次年度は、韓国も加わり選択肢が増える。今後も国際情勢を考慮しつつ新たな研修先を開拓する。台湾でも実施していた解剖実習は、国内のみに集約し効率化する。	学外実習は、学内実習等と組み合わせて効果的かつ効率的な実習になるよう工夫している。また、コロナ禍で培われた感染症対策を継続することも、医療者の自覚を涵養する職業教育となっている。 海外研修は、異文化に触れ、他国の医療を肌で感じることによって、改めて自国を理解する良い機会となっている。

最終更新日付	令和7年1月17日	記載責任者	仲濱 毅
--------	-----------	-------	------

6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	消防計画を定め、法令に従った施設・設備の検査や防災訓練を行う。 教職員と学生が災害時に迅速な行動をとれるようにする。	消防計画に従い、検査と訓練を実施しており、火災発生時のマニュアルを整備している。 経年劣化がみられた消防設備を交換した。	総合訓練の実施を省み、より安全で円滑な避難を目指して経路の一部を見直した方がよい。	消防計画 消防用設備等点検結果報告書 総合訓練任務分担表 総合訓練実施報告書 火災報知器フローチャート 学科連絡網 学生連絡票
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	学校生活で起きうる危険や事故等に関するリスク管理を行う。 教職員と学生が緊急時に人身の安全を第一とした適切な対応をとれるようにする。	学生・学校向けの保険に加入し、リスクに備えている。 怪我人・病人対応マニュアル等を整備して、教職員と学生に発信し、安全管理に努めている。	安全管理に関する福岡県等からの情報提供や、新しい情報の更新が増えているので、情報共有アプリを活用して、学生や教職員へ最新情報を発信する。	学生生徒災害傷害保険加入証 学校賠償責任保険加入証 医療分野学生生徒賠償責任保険加入証 怪我人・病人対応マニュアル

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
消防計画に従い施設・設備検査と防災訓練を実施するとともに、火災発生時のマニュアルを整備している。避難経路の一部を見直し、より高い防災管理を目指す。 学生・学校向け保険に加入し、怪我人・病人対応マニュアルを整備している。情報共有アプリを活用して、安全管理の情報を発信する。	緊急時の連絡網や安全管理の情報共有の手段として、従前の電話連絡網に加え、情報共有アプリやメール、インターネットを活用している。 インフルエンザワクチンの早期接種の実施など、現在の感染状況に即した安全衛生管理を行っている。

最終更新日付	令和7年1月17日	記載責任者	林 賢一
--------	-----------	-------	------

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
高校訪問、ホームページ、SNS、オープンキャンパス等を通じた情報発信に加え、令和6年度は、特に進学ガイダンスへの参加を強化した。 Web 出願手続き内容の改善、オンライン入試（AO）対象学科の増加、熊本・宮崎・沖縄県における県外入試を実施することで、受験生の利便性の向上に努めた。 入学者選抜においては、各学科が掲げるアドミッション・ポリシーをもとに総合的に評価し、合否判定会議で公正に選考している。 入学選考に関する実績と在学時の成績についての相関を、本校独自の学事システム（キャンパスマジック）を用いてさらに詳細に分析することで授業内容の改善や出席率の向上、退学率の低減等に活用している。 現在の学納金は、教育内容にふさわしい適切な水準に定められているため、次年度もこれを据え置く。令和7年度より理学療法科＋柔道整復科、もしくは鍼灸科＋柔道整復科の同時受講が可能となるが、同時受講時は片方の学科の学納金を徴収しない。 物価の上昇が続いているが、経費の内容を見直すことでコスト増を吸収し、教育の質の低下を招かぬよう努めている。ただし、施設・設備の拡充、教育課程の変更による臨地実習時間数の増加、教材費及び実習衣・実習用具費等の価格上昇により、学納金の見直しを行う可能性があるが、その際には関係者に対して理由を説明する予定である。	受験生が求める情報を直接伝えることができるように、進学ガイダンスへの参加を強化する。

最終更新日付

令和7年1月24日

記載責任者

滝沢 哲也

7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	本校の教育活動や各医療職種の特徴を高等学校等に情報提供する方針である。 それによって、医療職種に関する職業理解を深め、将来の進路選択やキャリアビジョン形成の一助となるよう、継続的に情報提供を行う。	従来から行っている高校訪問に加え、受験対象者と直接接触できる進学ガイダンスに積極的に参加した。(令和5年318件に対し令和6年は439件。38.0%増) その際、個々人の質問に適切に答えるために、参照資料を活用した。 また、インターネットを利用した情報発信手段として、オンラインによる学校説明会・入試説明会を随時行っている。オンラインによる説明会では一人一人個別の質問に対応し、本校及び各医療職種の特徴や入試情報など各種資料を用いて情報を提供している。	進学ガイダンスで高校生に接触した際、医療系職種に一人でも多くの生徒が興味を抱き、オープンキャンパスへの積極的参加を実現できるよう充実した対応を行う。 また、ホームページやSNSを通じた情報発信の強化、各コンテンツの一層の拡充を図る必要がある。特にホームページは受験生が必要とする情報を取得しやすいように修正を加える。 コロナ禍以降継続して行っているオンラインによる説明会については、遠隔地居住者に対する負担軽減及び情報提供という点において重要性が高いため、今後も定期的を実施する。 対面型のオープンキャンパスを行う場合は、来校者の個別ニーズに応じたプログラムを設定し、適切な情報提供を行う。	学校案内パンフレット 学生募集要項 就職支援室リーフレット 国家試験受験後の感想 国家試験合格速報 オープンキャンパス案内チラシ カフェ&イートチケットプレゼント企画チラシ 県外入試告知チラシ 本校ホームページ SNS (X、Instagram、LINE、Facebook、YouTube) 高校訪問報告書 整骨院・鍼灸院訪問報告書 オープンキャンパス来場者アンケート

7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的にしているか	専修学校各種学校協会の指針に沿うとともに高等学校の理解を得て、適切に行う方針である。また、募集活動時に発信する内容は、理解しやすく明瞭なものであるように努める。 Web 出願手続きの利便性の向上を図り、遠隔地居住者に対する負担軽減に引き続き取り組む。	専修学校各種学校協会の指針に沿うとともに高等学校の理解を得て、適切に行っている。 Web 出願手続きについては、入試日が 10 月上旬の場合、出願期間が短くなり受験生の不便を招くケースが過去にあったので、Web 出願サイト開設期間を設け、出願書類の準備を早めに行うことができるようにしている。 コロナ禍の 2020 年度以降、特に遠隔地居住者に対する負担軽減策として、理学療法科・柔道整復科・鍼灸科・歯科衛生科を対象にオンライン入試（A0）を実施してきたが、今年度は対象学科に看護科を追加した。また、熊本県・宮崎県・沖縄県で各 2 回の県外入試を実施している。	Web 出願手続きについては、出願期間前に準備可能な項目を増やすことで、期間内に行う手続きを軽減し、受験生の利便性向上を図る。 遠隔地居住者に対する負担軽減策として実施しているオンライン入試（A0）については、毎年一定の受験生に利用されていることを踏まえ、次年度も継続して行う。 県外入試も今年度と同様、熊本県・宮崎県・沖縄県で各 2 回実施する予定である。	学校案内パンフレット 学生募集要項 就職支援室リーフレット 本校ホームページ SNS（X、Instagram、LINE、Facebook、YouTube） 福岡県専修学校各種学校協会の通達文書
------------------------------------	---	---	--	---

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
従来から行っている高校訪問に加え、高校生と直接接触できる進路ガイダンスへの参加数を増やすとともに、オープンキャンパスへの参加を促すことによって、個々人に対して医療系職種の特色や入試に関する情報を提供している。また、受験生が必要とする情報の取得を容易にするため、ホームページ、SNSを通した発信をより強化・拡充する。オンラインの学校説明会・入試説明会は遠隔地居住者に対する負担軽減及び情報提供という点において重要性が高いため、今後も定期的を実施する。 Web 出願手続き内容の改善を継続的に行う。オンライン入試（A0）及び熊本県・宮崎県・沖縄県における県外入試は、遠隔地に居住する受験生の負担軽減及び利便性向上を目的として継続実施する。	令和 7 年の進路ガイダンス参加数は、令和 6 年比 13.9%増の 500 件を目標とする。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 14 日	記載責任者	館原 宗幸
--------	-----------------	-------	-------

7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学試験委員による入学試験委員会を開催し、入学選考に関する規程を定め、学生募集要項に選考方法等を明記し適切に運用する。 受験者の利便性を考慮し、学生募集要項は紙面及びホームページ上に掲載する。 変更・追加等がある場合は、これを速やかに告知する。	学生募集要項に、各学科が掲げるアドミッション・ポリシーを明記している。 選考においては、アドミッション・ポリシーをもとに、学習意欲、協調性、コミュニケーションをとるに足るだけの基礎学力を有するかどうか等を総合的に評価し、判断している。 また、入試日程を増加することで、より公平な選考を受けられるよう配慮するとともに、遠隔地在住の受験生と近隣在住の受験生との受験に係る移動時間や費用等の負担の格差を軽減すべく、オンライン入試を実施している。	国による高大接続改革により、令和4年度大学入学者選抜要項には、(1) 基礎的・基本的な知識・技能 (2) 思考力・判断力・表現力等の能力 (3) 主体性をもって多様な人と協働して学ぶ態度、の3要素を評価することと規定されている。 本校はこの規定を踏まえてアドミッション・ポリシー並びに試験科目を制定している。 また次年度は、受験生の利便性を図るため、オンライン入試の日程を拡充する。	学校案内パンフレット 学生募集要項 入学選考資料 入学試験に関する規定 本校ホームページ

7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考に関する情報や実績は正確に把握・記録し、適切に管理する。 学生個人ファイルに保管されている入学願書等の情報を活用することで、資格取得率や就職率の向上、退学者数の低減につなげる。	個人情報に関わる内容であるので、その取扱いについては専門部署を設け、担当者が適切に管理している。 学生個人ファイルの情報は、在学中の面談等において、学生の現状および既往を把握するために活用している。	入学選考に関する実績や、在学時の成績などの膨大なデータの相関を、本校独自の学事システム（キャンパスマジック）を導入することでさらに詳細に分析し、授業内容の改善や出席率の向上、退学率の低減等に活用している。	受験者数の推移表 入学選考資料 学生個人ファイル
-------------------------------------	--	---	---	---

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学者選抜においては、各学科が掲げるアドミッション・ポリシーをもとに総合的に評価し、合否判定会議で公正に選考している。 入学選考に関する実績と在学時の成績についての相関を、本校独自の学事システム（キャンパスマジック）を用いてさらに詳細に分析することで授業内容の改善や出席率の向上、退学率の低減等に活用している。	特になし。

最終更新日付	令和7年1月24日	記載責任者	佐藤 豪介
--------	-----------	-------	-------

7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	学納金は教育内容にふさわしい、適切な水準に定めることを方針とする。 年間諸経費を明記して、入学者が卒業までに必要な経費をすべて明示する。	現在の学納金は、全6学科ともに、教育内容にふさわしい適切な水準に定められているため、次年度もこれを据え置く。 また、令和7年度より理学療法科＋柔道整復科、もしくは鍼灸科＋柔道整復科の同時受講が可能となるが、この同時受講期間中については片方の学科の学納金（入学金・授業料・施設費）を徴収しないため、短期間かつ低コストで複数の資格取得を目指すことが可能となった。	物価の上昇が続いており、経費の内容を見直すことでコスト増を吸収し、教育の質の低下を招かぬよう努めているが、今後、施設・設備の拡充や、教育課程の変更による臨地実習時間数の増加、また教材費及び実習衣・実習用具費等の価格上昇により、必要経費が増加する可能性がある。 その際には、適正な範囲内で学納金の見直しを行い、受験希望者に対してその理由を明確に説明する。	学生募集要項 本校ホームページ 柔道整復科【午後】開設チラシ
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	入学辞退者に対する授業料等の取扱いは、平成18年度文部科学省通知の趣旨に沿って適正に対応する。	入学辞退者に対する授業料等の返戻取扱いについては、学生募集要項に明記し、入学辞退者に対して適正に対応している。	電話やオープンキャンパス等で学納金返戻に関する問い合わせがあった場合は、学生募集要項を用いて、当該事項に関する説明を十分に行うことにより、受験生や保護者に対して取扱いに関する周知を図る。	学生募集要項 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現在の学納金は、教育内容にふさわしい適切な水準に定められているため、次年度もこれを据え置く。令和7年度より理学療法科＋柔道整復科、もしくは鍼灸科＋柔道整復科の同時受講が可能となるが、同時受講時は片方の学科の学納金を徴収しない。 物価の上昇が続いているが、現在は経費の内容を見直すことでコスト増を吸収し、教育の質の低下を招かぬよう努めている。ただし今後、施設・設備の拡充や、教育課程の変更による臨地実習時間数の増加、また教材費及び実習衣・実習用具費等の価格上昇により、学納金の見直しを行う可能性があるが、その際には受験希望者に対して理由を明確に説明する。	卒業までに納付が必要となる学納金及び年間諸経費について、学生募集要項に明確に記載している。

最終更新日付	令和7年1月14日	記載責任者	諸岡 大輔
--------	-----------	-------	-------

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中長期的な財務基盤を安定させるため、入学定員充足率の向上と退学率の低減が重要である。さらに、新コースを設置するなどの、教育活動の見直しも行いながら適切な予算管理に努める。 財務・経営状況比率の全国平均と比較した結果は、良好である。 予算及び計画は、各科・各校務分掌の審議を経て、運営会議において予算の方針を策定する。その後、評議員会での検討を経て、理事会で決定する。理事会及び評議員会に予算と決算の対比表を提出し、適正な執行管理を行っている。 学内ネットワークを活用した決裁システムの運用により、適切な執行管理に努めている。	令和 7 年度から柔道整復科午後コース（入学定員 30 名）を新設したことにもない、中期予算の見直しを行う。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 24 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	-----------------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	中長期的な財務基盤を安定させるため、入学定員充足率の向上と退学率の低減が重要である。新コースの設置などの教育活動の見直しを行う一方、適切な予算管理に努める。	令和7年度からは、柔道整復科の午後コース(定員を30名)を新設し、理学療法科又は鍼灸科との同時受講を可能とする。	少子化が進行する中、入学生の確保は年々難しくなっている。進路ガイダンス等の回数を増やして、高校1年生の時点で本校についての存在度を高めるよう努める。 とりわけ新設コースの認知度を高めていくことが課題である。	過去3年間の計算書類 令和6年度予算 令和6年度事業計画書 収支予算及び向こう二年間の財政計画 学校案内パンフレット 本校ホームページ 令和7年度学生募集要項
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	決算後、財務・経営状況比率の全国平均と比較して、財務分析を実施する。	財務・経営状況比率の全国平均と比較した結果は、良好である。	財務分析結果を学内に公表し、経営状況実態について多くの教職員が関心を持つようにすることが課題である。	過去3年間の計算書類 令和6年度度予算 財務比率比較表 5ヵ年連続財務比較表 令和6年度事業計画書 令和7年度学生募集要項

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
中長期的な財務基盤を安定させるため、入学定員充足率の向上と退学率の低減が重要である。新コース設置など教育活動の見直しを行いながら適切な予算管理に努める。 財務・経営状況比率の全国平均と比較した結果は、良好である。	令和7年度からは、柔道整復科午後コース(定員30名)を新設し、理学療法科又は鍼灸科との同時受講を可能とする。

最終更新日付	令和7年1月7日	記載責任者	滝沢 裕子
--------	----------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	教育目標の達成に結び付く単年度予算・計画及び中期予算・計画を策定する。	予算及び計画は、各科・各校務分掌の審議を経て、運営会議において予算の方針を策定する。その後、評議員会での検討を経て、理事会で決定する。	令和 7 年度から柔道整復科午後コース（入学定員 30 名）を新設し、中期予算の見直しを行う。	令和 6 年度予算書 収支予算及び向こう二年間の財政計画 理事会議事録 評議員会議事録 令和 6 年度事業計画書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算及び計画に基づき、適正な執行管理に努める。予算と決算の対比表を、理事会・評議員会に報告する。	理事会及び評議員会に予算と決算の対比表を提出し、適正な執行管理に努めている。 学内ネットワークを活用した決裁システムの運用により、適切な執行管理に努めている。	学科別の予算管理と執行状況を適時提示することが課題である。	過去 3 年間の損益計算書 令和 6 年度予算書 理事会議事録 評議員会議事録 令和 6 年度事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
予算及び計画は、各科・各校務分掌の審議を経て、運営会議において方針を策定する。その後、評議員会での検討を経て、理事会で決定する。 理事会及び評議員会に予算と決算の対比表を提出し、適正な執行管理を行っている。 学内ネットワークを活用した決裁システムの運用により、適切な執行管理に努めている。	令和 7 年度から柔道整復科午後コース（入学定員 30 名）を新設し、中期予算の見直しを行う。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 7 日	記載責任者	滝沢 裕子
--------	----------------	-------	-------

8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	私立学校法及び寄附行為に基づき、監事が学校業務並びに財産の状況について監査を行う。	理事会及び評議員会に監事2名が出席し、理事および評議員の学校執行および財産の状況を監査している。 監事のうち1名は、毎月行われる教職員会議及び運営会議に出席して、法人運営の状況を直接確認している。	私立学校法の一部改正に伴い、寄附行為の大幅な改定変更作業を進行中である。	寄附行為 理事会議事録 評議員会議事録 監査報告書 教職員会議議事録 運営会議議事録 私立学校法改正案

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立学校法及び寄附行為に基づき、監事は法人の業務並びに財産の状況について監査を行う。	監事のうち1名は、毎月行われる教職員会議及び運営会議に出席して、法人運営の状況を直接確認している。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 14 日	記載責任者	藤瀬 幸子
--------	-----------------	-------	-------

8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法に基づき、ホームページに財務情報を公開する。	事業報告書(計算書類の経年比較表を含む)、計算書類および監査報告書をホームページに公開している。	財務情報を適切に公開し、社会から評価を受けることにより、自主的・自律的な質の向上に努めていく。	本校ホームページ 計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表、財産目録) 事業報告書 監査報告書 情報公開規程 シラバス 財務比率比較表

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
私立学校法に基づき、事業報告書(計算書類の経年比較表を含む)、計算書類および監査報告書をホームページに公開している。	事業報告書には、計算書類の経年比較表を掲載し、財務状況の変化がわかりやすいように努めている。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 14 日	記載責任者	藤瀬 幸子
--------	-----------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係法令及び設置基準を遵守し、適切な運営を実行できるよう努めている。 教職員に対しては、教職員会議において法令の遵守について周知徹底を図っている。新人、中途採用者を問わず、入職時にコンプライアンス研修を実施している。 個人情報の安全管理が図られるよう組織体制を整備して、情報を取り扱う権限を明確にしている。社内ネットワーク（サイボウズ）のクラウド化移行に伴い、個人情報の安全運用管理、セキュリティ対策を実施している。 自己点検・自己評価に関しては、文部科学省ガイドライン準拠における評価報告書にまとめている。また、学校評価に関しても、学校評価実施規程に基づき、学校評価委員会を設置して学校評価を実施し、評価結果をホームページに公表している。その他、職業実践専門課程基本情報、第三者評価、学則及びシラバス、高等教育修学支援新制度に関わる機関要件の更新確認申請書等をホームページに掲載し、情報の公表に努めている。	改正私立学校法に基づく寄附行為変更認可申請を進めている。 本校の情報についてはホームページ（情報の公表）に公開し、開かれた学校の実現に努めている。また、学内における行事等においても SNS を通して情報発信を行っている。

最終更新日付	令和 7 年 2 月 1 日	記載責任者	小磯 嘉貴
--------	----------------	-------	-------

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	関係法令及び設置基準を遵守することが重要である。また、コンプライアンスを確立し適切な学校運営を実行する。 私立学校法や電子帳簿保存法の改正に対応する。	関係法令や学校設置基準を遵守し、適切な学校運営が行われている。関係法令・諸規則を整備し、教職員会議や学科長及び校務分掌責任者が遵守状況等を把握、管理している。状況については運営会議等で学内に情報共有している。 電子帳簿保存法の改正に対応するため、金銭に関わる電子データを保存している。	コロナ禍によって導入された ICT 環境で効果的な教育が展開できるよう整備しているが、対面授業を推進しているの、急遽 ICT 機器の使用が必要になった際の、ICT 機器使用時のコンプライアンスの確立、リスクの周知が必要である。	許可・届出書類 学則 学生要覧 運営会議議事録 教職員会議議事録 入職オリエンテーション資料 FD・SD 研修会抄録 寄付行為

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係法令及び設置基準を遵守し、適切な運営を実行する。また、教職員に対しては、教職員会議において周知徹底図り指導を行う。学科長及び校務分掌責任者が遵守状況等を把握、管理している。さらに、入職時にはコンプライアンスに関する資料を用いて指導している。	対面授業が主になってきているため、急遽 ICT 機器の使用が必要になった際のリスクの検出・周知を行い、運用のルール策定を行う必要がある。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 17 日	記載責任者	大神 啓裕
--------	-----------------	-------	-------

9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人の権利・利益の保護を図るために個人情報保護に関する法令に基づく内部規程を定め漏えい、滅失及び毀損等の防止と安全管理のために必要かつ適正な措置を講じる。 個人情報の取得や利用に当たっては、利用目的を特定しその範囲内で利用する。また、利用目的を通知または公表する。	個人情報保護に関する内部規程に基づき、必要かつ適切に運用している。個人情報の安全管理が図られるよう組織体制を整備し、情報資源へのアクセス権限を明確にしている。また、情報システムのセキュリティ対策を実施している。	個人情報保護に関する内部規程を適切に運用するために、個人情報の取扱いに関する留意事項についての周知を行う。 個人の電子媒体の取り扱いについて規約を定める。 情報システムのクラウドサービスへの移行に伴い、個人情報の安全な運用管理を実施する。	個人情報保護規程 コンピューター使用ルール ウィルス感染等の防止について 学校関係者評価における守秘義務に関する規程 臨床実習要綱

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護法に基づき、適正かつ的確に運用している。個人情報の安全管理が図られるよう組織体制を整備し、情報を取り扱う権限を明確にしている。	個人データが記録されていた機器や電子媒体等の廃棄は、安全管理のための措置に関する内容を委託契約において明確化する。 コンピュータウィルスによる個人情報の漏洩被害を防止する対策として、電子メール等への警戒、OS等の脆弱性の改善、ウィルス対策ソフトの適切な運用等を実施する。

最終更新日付	令和7年1月14日	記載責任者	中西 代志弘
--------	-----------	-------	--------

9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	学校評価実施規程に沿って自己評価を行い、教職員全員が参加して自己点検を行うことを方針としている。	自己評価を学校運営に活かすため、自己点検・自己評価委員会を設置し、全教職員参加型で自己点検を実施している。	自己点検・自己評価の結果について教職員の周知を高め、各学科や校務分掌の運営に活かしていく。	自己評価報告書 学校関係者評価報告書 学校評価実施規程 学校評価委員会議事録
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	関係法令に基づき自己点検結果を公表する。	文部科学省ガイドライン準拠の評価報告書に取りまとめ、本校ホームページに公表している。	関係する外部団体等に対して、ホームページに公開していることを積極的に紹介する必要がある。	本校ホームページ 自己評価報告書 学校関係者評価報告書 高等教育機関の修学支援新制度確認申請書
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校教育法及び専修学校における学校評価ガイドラインに基づき、学校評価委員会を設置し学校評価を実施する。	学校関係者評価実施規程に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、学校評価を実施し、評価結果を学校運営に活かしている。	学校関係者評価委員会では教育内容や教育活動、学校運営等について貴重な提言が行われている。その内容について教職員の理解を深める必要がある。	学校評価実施規程 学校評価委員会議事録 学校関係者評価報告書 本校ホームページ
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校教育法及び専修学校における学校評価ガイドラインに基づき実施した結果を、学校ホームページ等を利用し広く社会に公表していく。	文部科学省ガイドライン準拠の評価報告書に取りまとめ、学校ホームページを利用して公表している。	自己評価結果と同様に、学校関係者評価結果について情報発信していることを、外部関係者に積極的に紹介する必要がある。	学校評価実施規程 学校関係者評価報告書 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
文部科学省ガイドライン準拠における評価報告書にまとめ、学校ホームページを利用して公表している。また、学校評価実施規程に基づき、学校評価委員会を設置して学校評価を実施し、評価結果を学校運営に活かしている。	自己点検・自己評価及び学校関係者評価について、内部の教職員への周知を高め、外部に対しても学校ホームページで公開していることを積極的に紹介していく。

最終更新日付	令和7年1月19日	記載責任者	仲濱 毅
--------	-----------	-------	------

9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	教育活動の質の向上を目指すとともに情報公開の義務を果たすため、在校生、卒業生、保護者及び学校関係者に対して、積極的に教育情報の提供を行う。	職業実践専門課程基本情報、第三者評価、自己点検・自己評価・学校関係者評価報告書、学則及びシラバス、高等教育修学支援新制度に関わる機関要件の更新確認申請書等を本校ホームページに掲載し、教育情報の公表を行っている。	情報公開するにあたり、情報資産の機密性・完全性の確保を行い、常に正常な運用が必要である。特に個人情報等の厳格な取り扱いが必要である。	学校案内パンフレット 本校ホームページ(職業実践専門課程基本情報様式 4 自己点検・自己評価報告書、) スマートフォン用本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職業実践専門課程基本情報、第三者評価、自己点検・自己評価・学校関係者評価報告書、学則及びシラバス、高等教育機関の修学支援新制度に関わる期間要件の更新確認申請書等を本校のホームページに掲載し、本校の教育内容を広く関係者に周知している。教育内容の公開を進めることが、教職員の意識を高めることにつながっている。	個人情報に関わる情報の公開については、本人に利用の用途とその範囲を文書化し伝達する必要がある。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 14 日	記載責任者	富永 忠雅
--------	-----------------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
社会貢献・地域貢献については、「医療」や「健康」、「スポーツ」等のテーマを主とした講義等を随時受付け実施した。また、高等学校体育祭の救護や、各種団体への教室提供ならびに、近隣のスポーツクラブチームへの体育施設提供を実施した。地域・スポーツの活性化の一助となるよう努めている。 令和6年度の海外研修について、ハワイ研修は予定とおり実施したが、台湾研修は東部沖沿岸を震源とした地震が発生したことに伴い、研修が中止となった。今後、ハワイ、台湾に加え、他の研修の機会も目指していく。 ボランティア活動については、福岡マラソンの救護活動に加え、高校野球などのスポーツイベントに、多くの学生がボランティアとして参加した。 各種団体より依頼があった際には、学内掲示板や情報共有アプリを活用し、広く情報発信を行った。また、直接学生に対してボランティアの意義を説明し、積極的な参加を促した。	2024年4月3日に台湾東部沖沿岸を震源とする地震が発生したことにより、台湾研修の中止措置を行った。

最終更新日付	令和7年2月1日	記載責任者	當眞 裕樹
--------	----------	-------	-------

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	種々の分野の団体に施設・設備等を提供し、近隣地域を中心とした社会貢献、および連携を深めることを目指す。	「医療」や「健康」、「スポーツ」等のテーマを主とした講義等を随時受け、実施した。また、高等学校体育祭の救護や、各種団体への教室提供ならびに、近隣のスポーツクラブチームへ体育施設の提供を実施した。地域活性化の一助となるよう努めている。	引き続き本校の施設や人材をいかした社会貢献に努める。 令和 5 年度新設の歯科衛生科では、本校の歯科ユニットを使用し学外教育機関の実習を受け入れた。 今後も本校のハード、ソフト両面から、社会貢献および連携を深めていく。	学校ホームページ 施設利用願 施設利用規定 出前講義申込書
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	グローバル化に伴い、海外の教育機関で研修を行い、学生が国際的な感覚を身につけるよう取り組む。	令和 6 年度の海外研修はハワイおよび台湾の 2 か国で計画した。ハワイ研修は予定どおり実施したが、台湾研修は東部沖沿岸の地震発生に伴い、予定していた研修が中止となった。海外研修で計画していた一部実習などは国内にて対応した。	異文化理解として、ハワイ、台湾での研修のみならず、他の地域の機会確保も目指していく。	令和 6 年度事業計画

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
「医療」や「健康」、「スポーツ」等のテーマを主とした講義等を随時受け実施した。また、高等学校体育祭の救護や、各種団体への教室提供ならびに、近隣のスポーツクラブチームへの体育施設提供を実施した。地域・スポーツの活性化の一助となるよう努めている。 令和 6 年度の海外研修について、ハワイ研修は予定どおり実施したが、台湾研修は東部沖沿岸を震源とした地震が発生したことにより、研修が中止となった。今後、ハワイ、台湾に加え、他の研修の機会も目指していく。	2024 年 4 月 3 日に台湾東部沖沿岸を震源とする地震が発生したことにより、台湾研修の中止措置を行った。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 10 日	記載責任者	當眞 裕樹
--------	-----------------	-------	-------

10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	各種ボランティア活動に学生が取り組むことにより、社会性を育み、医療従事者としての自覚を促す。また、社会貢献の重要性を体験させるため、積極的に案内を行う。	例年に引き続き、福岡マラソンの救護活動に加え、高校野球や体育祭救護などのスポーツイベントに、多くの学生がボランティア活動に参加した。 ボランティア依頼があった際には、学内掲示板や情報共有アプリを活用し、情報発信を積極的に行った。	ボランティア参加学生に、学科の偏りがみられる。 学生の社会的活動の機会を広げるためにも、学科の適性を考慮した案内を発信する。	各種ボランティア募集資料 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今年度もスポーツ関係の救護補助を中心に、様々なボランティア活動に参加した。依頼があった際には、学内掲示板や情報共有アプリを活用し、広く情報発信を行った。 また、掲示だけではなく直接学生に対してボランティアの意義を説明し、積極的な参加を促した。	本校は医療系の専門学校のため、学校生活における人間形成や卒業後の社会活動を鑑みて、より多くのボランティア情報を発信する。

最終更新日付	令和7年1月17日	記載責任者	林 賢一
--------	-----------	-------	------